

長野県図書館協会小中学校部会上高井支部代表
須坂市立井上小学校長 宮坂ゆかり

平成28年度 北信地区学校図書館教育研究会の実施報告（上高井支部）

- 1 研究テーマ 「生きる力を育むこれからの図書館教育のあり方」
- 2 期 日 平成28年 10月27日（木）
- 3 会 場 須坂市立井上小学校 須坂市立墨坂中学校
- 4 主 催 長野県図書館協会小中学校部会 長野県図書館協会小中学校部会中高支部
主催者代表出席者：長野県図書館協会小中学校部会 会長 安茂里小学校 和田 敦 校長
- 5 後 援 長野県教育委員会 須坂市教育委員会 小布施町教育委員会 高山村教育委員会
上高井校長会 上高井教育会

6 日 程

《井上小学校会場》

12:45	13:10	13:55	14:05	15:05	15:20	16:50
受付	研究授業(45)		授業研究会(60)	休憩	開会行事 講演会(80)	閉会行事

《墨坂中学校会場》

12:45	13:20	14:10	14:20	15:00	15:20
受付	研究授業(50)		授業研究会(40)	移動	

7 公開授業・授業研究会

授業学年・授業者	単 元 名	司会者	助 言 者
小学校1年 小林裕美教諭	「じどう車くらべ」 国語科	黒岩 龍也 (会場校教頭)	北信教育事務所 指導主事 宮島 卓朗 先生
中学校2年 北原大介教諭	「おすすめの本のCMを作ろう」 技術科・国語科	西原 秀明 (会場校教頭)	長野県総合教育センター 専門主事 林 健司 先生

8 全体会の内容

- (1) 開会行事
- (2) 講演会 講師 塩谷 京子 先生（放送大学客員准教授/関西大学非常勤講師）
演題 「学校図書館の活性化 ～探究型学習を支える学校図書館をめざして～」
- (3) 閉会行事

9 参加者の人数

小学校部会 38名 中学校部会 34名 合計 97名（講演会のみ参加者も含む）

10 参観者の意見・感想

(1) 公開授業について

《井上小学校》

- ・子どもたちが一人ひとり、自分のカードに書き、図鑑を資料に取り組んでいる姿が素晴らしかったです。
- ・わたし自身は図書館の先生ですので、担任の先生が借りていった本が、教室でどう活用されているのかが見ることができました。これからは教室での活用のされ方を想定しながら選書をしようと思いました。
- ・授業の導入で曖昧なことが書いてあるカードをあえて提示し、子どもたちに正させながら把握させるところ、とても良いと思いました。これから入る単元ですので参考にさせていただきやってみたいと思います。
- ・授業では1年生なりにじっくり本を読み、そこから情報を得ようとする姿があり大変勉強になりました。
- ・児童・先生方が求める本、資料を揃えるのが、司書の仕事かと思しますので、頼りになる図書館になるように考えていきたい。
- ・本と学習とを近づけようとする試み(学習センターとしての機能を活かした実践)の積み重ねにより本を信頼し、

本が大好きな子どもを育てているところが素晴らしいと思いました。

- ・自動車くらのつくりを調べる学習は、情報が多く、子どもたちにはハードルが高く、書くことの難しさを感じていました。とても参考になりました。
- ・本はいろいろなのがわかり便利で楽しいですが、その情報をどう選択していくかは、なかなか難しいことだと思いました。だから学年の発達段階に応じながら学習の機会をとっていかねばと改めて感じました。
- ・導入の工夫、言語活動(かるた、クイズづくり)の良さ、教材研究や一人ひとりに寄せた準備など参考にさせていただきました。
- ・「きゅうきゅう車」のつくりの文の示し方素晴らしかったです。「この文じゃダメだよ」「みんなでつくってみよう」「これならわかるよね」という流れで、子どもたちの力で作り上げました。
- ・1時間の授業で読むことをねらうのか書くことをねらうのかという絞り込みが大切だと思います。本時、「書くこと」の取り扱いに関わる学習として考えれば、宮島指導主事にあつた「ここに書いてあるね」という支援の大切さが鮮明になるのではないかと思います。



(墨坂中学校)

- ・国語科と技術科の連携ということで、他ではあまり見ることでできない進歩的な授業を提案していただき、大変勉強になった。
- ・国語科と技術科、それぞれの教科の特性を生かしたよい実践であった。昨年の作品も最初に見せていただいたが、この授業が毎年続いているのならすごいことだと思った。
- ・ただ本を読むだけで終わらず、帯を作ったり、CMを作ったりするという目的があることで、必要感をもたせることができていたと思う。時間が少ない中で追究時間も確保でき、実践したい取り組みだった。
- ・国語科でキャッチコピーを作ってあったため、見る人に何を伝えるべきかが明確になっていてよかった。国語的な観点から伝えたいことが、そのまま技術科のマルチメディア作品で伝えたいことを表現する技能につながっており、生徒の意欲や必要感を引き出すことができていた。
- ・課題追究の見通しが示され、CMを修正する方法の決めだしができていた。互いにアドバイスカードを渡し合うことで、協働の学びが見られたように思う。



(2) 講演会について

- ・これからの時代を生き抜く子どもたちに情報を読み取る力をつけていけるように、自分たちに何ができるか考えていきたいです。
- ・図書館では、情報活用スキルと環境の向上が必要であることが、よくわかりました。ではどうするのか?を問い続け、図書館運営において実践できるよう努めたいと思います。
- ・わたしは小学校の教師ですが、小学校低学年から身につけていくべきことがあることが全国学テ(中3)のお話からよくわかりました。特に普段家庭で触れていない言葉を学校で意識して使ったり、掲示したりしていくことについては、明日から早速心がけていきたいと思います。
- ・授業で図書館を利用するためには「ねらい」がはっきりして、そのねらいに図書館が有効であるかを見極めてということが大切であることが具体的な例を示して教えていただきました。
- ・来て良かったと思っています。早く学校に戻って仕事がしたくなりました。



(3) 運営等… (研究会はジグソー法で実施：小) (中学校は時間の都合上、主事指導のみ)

- ・研究会において2回メンバーを入れ替えて話を聞くことで、多様な考えを聞くことができて良かった。(小)
- ・授業研究会は時間が短く、前半後半分けて2グループで話し合いましたが、意見をそれぞれ述べるだけでやや慌ただしかった。(小)
- ・授業を参観する上で、注目するグループが決められていたので、そのあとの研究会がスムーズでした。(小)
- ・全体会の会場が、視聴覚室でちょうど良かった。

1.1 その他

- (1) 北信ブロックの研修会を兼ねるということで、県の方より講師の紹介、斡旋及び事務手続きをしていただいたこと、謝礼等支出していただき素晴らしい講師をお呼びできたことに感謝申し上げます。
- (2) 中学では横断的な学習を展開し、技術科で授業を行ったが、これからの学習の方向を提案できたと考えられる。(郡の技術科研究会を兼ねていた)
- (3) 上高井図書館協会様にもお力添えいただき、支部独自で赤木かん子先生をお呼びしての研修を2回行った。教職員の意識向上に寄与できたと思う。